

# 平成 28 年度事業計画書

(平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日)

平成 28 年 3 月 9 日

公益財団法人 同盟育成会

## 【基本方針】

学寮事業は平成 27 年度に 2 寮体制が本格的に動き出し、奨学金事業も 27 年度に貸与奨学金の新規募集を休止して大学学部生向けの給与奨学金を新設するなど、両事業とも新しい枠組みが整った。

しかし、どちらの事業も採用者数が目標を下回っており、平成 28 年度は、新しい枠組みを軌道に乗せることに全力を挙げる。

## 【収入見通し】

収入は、株式配当収入で 27 年度当初予算比約 3,800 万円の増収が期待できる。しかし、特定資産の利息収入は、マイナス金利時代に入って、一段と厳しい状況になると予想され、28 年度予算では、経常収益を 27 年度予算比約 2,600 万円増の 2 億 6,074 万円と見込んでいる。

## 【管理部門】

(1) 資産運用＝予算計上した年間収入 2 億 6,074 万円を達成するため、金融資産については、株式を除いて、年間 3%程度の利息収入確保を目標に運用する。

ただし、比較的高いリスクの仕組債等は金融資産全体の 30%以内にとどめることを原則とし、財務体質の健全性を維持する。

(2) 事業推進体制の整備＝平成 28 年 1 月から運用が始まったマイナンバー制度に対応するための規程新設など、引き続き事業推進体制の整備を進める。

(3) 事務局長交代の準備＝平成 29 年 6 月に現事務局長の任期が満了するため、これに備えて、28 年秋に後任の事務局長予定者を事務局長代理として採用し、約半年間かけて事務引継ぎをする。

## 【学生寮事業】

(1) 平成 28 年度新入寮生の見込み＝白山寮、市谷寮とも、昨年 4 月に新寮生が入って、本格的に 2 寮体制に移行した。

ただ、白山寮 54 人、市谷寮 62 人の定員を満たすには至っておらず、28 年 1 月 1 日現在の在寮生数は白山 43 人（留学中の 1 人を含む）、市谷 39 人とどまっている。

欠員数に今年度末の退寮予定者数を加えた 28 年度の新規受け入れ可能数は白山 21 人、市谷 31 人となるが、一度に多数の新寮生を受け入れると、

指導が行き届かなくなる恐れがあるため、募集開始にあたって受け入れ枠を白山、市谷とも 20 人に設定した。

これに対し、男子は応募者数がこの枠を超えており、白山寮は期首から満室となる見込み。

しかし、女子は応募者が受け入れ枠の 20 人に届いていない。このため、女子に関しては 28 年度に入ってから追加募集も検討する。

**(2) 白山寮の給食改善**＝白山寮の給食に対して寮生から「市谷寮と比べて量的に少ない」との不満が出たため、調査したところ、給食・管理業務を委託している一富士フードサービス（株）の対応に主な原因があることが分かり、委託先を（株）フジランドに変更して改善を図る。

契約上は 4 月 1 日から変更となるが、既にフジランドから派遣される新しい管理人も決まっており、引き継ぎ作業が始まっている。業者変更に伴う委託料の増額は想定していないが、引継ぎのため若干の一時的費用が発生する可能性はある。

なお、市谷寮の給食は寮生に好評であり、一富士フードサービスへの委託を継続する。

**(3) 平成 29 年度新規入寮者募集**＝平成 29 年度も入寮生募集は 28 年 11 月下旬締め切りの第 1 次募集と 29 年 3 月上旬締め切りの 2 段階方式とすることとし、第 1 次募集は 6 月から開始する。

女子の応募者拡大策としては、平成 28 年度第 2 次募集で試験的に実施したインターネット上での広告掲載が一定の効果を収めたため、29 年度募集でも適宜実施する。

**(4) 教育補助事業**＝毎年恒例の創立記念行事（10 月）、成人式（1 月）、新入寮生対面式（4 月）を財団主催で開催するほか、寮生が自主的に実施する予定の・新人歓迎会（4 月）、夏季キャンプ（8 月）、クリスマスパーティー（12 月）、退寮生送別会（2 月）、茶道教室、Toeic 受験（秋）等に補助金を支出する。各行事の実施に際しては、原則として寮長が参加し、指導、監督に当たる。

**(5) 保険・衛生**＝28 年度も財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

**(6) 市谷寮第 1 期定期改修を延期**＝同盟学寮の中期修繕計画で平成 28 年 8 月に予定している市谷寮の第 1 期定期改修を平成 29 年度以降に延期する。市谷寮のメンテナンスを委託している大林ファシリティーズに建物の状態を診断してもらった結果、まだ大規模改修の必要はないと判断されたため、先送りすることとした。

## 【奨学金事業】

(1)新規採用目標＝大学院生を対象にした給与奨学金は 28 年度も新規 15 人の採用を目指す。達成できれば、大学院給与奨学生は 27 年度の 25 人（留学のため 27 年 9 月から給与を休止している 1 人を含む）から 6 人増加して 31 人（留学を終了し 28 年 9 月から給与を再開する 1 人を含む）となる。

また、27 年度から始めた大学学部生向け給与奨学金は、新規 20 人の採用を目標とする。目標通りなら、27 年度採用の 8 人と合わせて学部奨学生は 28 人となる。

(2) 給与奨学生研修会＝大学院奨学生の研修会は、例年通り、9 月と 3 月に実施する。場所もこれまで通り 9 月横浜、3 月東京とする予定。

一方、大学学部奨学生に対しては、就職活動が始まる前の 4 月に研修会を実施することとし、これとは別に、3 月の大学院生研修会の際にも、懇親会のみ参加してもらう。

#### 【収益事業】

東京都渋谷区桜丘町の学寮跡地を、時間貸し駐車場を運営する日本パーキング株式会社に引き続き賃貸し、収益を事業費に充当する。 以上